

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

総事業費合計 129,141,033 円

交付金充当額 122,058,000 円

No.	事業名	総事業費	事業概要	事業効果	担当課
1	感染防止対応救急車両整備事業	39,490,000	コロナ感染防止の機能を備えた救急車両を整備した。 高規格救急自動車(本体) 18,480,000円 高度救命処置用資機材 20,350,000円 高度救命処置用器具 660,000円	コロナ対応仕様の救急車両の導入により、患者のみならず救急隊員のコロナ感染防止に万全を図った。	平内消防署
2	リモート会議システム導入事業	1,872,992	業務におけるリモート会議・オンライン研修等の機会増加を踏まえ、リモート対応機器を追加購入した。 ノートパソコン(3台)等一式 265,947円 プロジェクター(3台)等一式 534,765円 マイクスピーカーシステム一式 456,500円 ネットワーク配線 615,780円	コロナの影響で多くの会議や研修が現地集合形式からウェブ開催形式に変更された状況に早期対応し、外部との情報伝達を適切に遂行することができた。	総務課
3	学校給食安全衛生改善事業	5,473,600	学校給食における衛生対策として配送・配膳備品を更新した。 配膳用ワゴン(2台) 1,870,000円 リフト用運搬台車(8台) 611,600円 配膳盆、丼、椀、箸(800組) 2,992,000円	配送・配膳備品を衛生管理上優れたものに更新するとともに、滅菌消毒などを徹底することにより安全安心な学校給食の提供が図られた。	学校教育課
4	学校給食非常時対策事業	437,088	給食センター職員のコロナ感染などによる突然の調理停止などに備え、即日提供可能な非常食を備蓄した。 缶詰パン(792食) 328,458円 フルーツ缶詰(792食) 108,630円	長期保存可能な非常食を備蓄したことにより、センター職員の感染ばかりではなく食材供給経路の麻痺などコロナの影響による不慮の事態にも即応できる体制が整った。	学校教育課
5	社会教育施設安全・安心確保事業	14,454,660	集会施設等における感染リスク低減のため、低接触につながる設備や空気清浄機、飛沫防止パネルなどを整備した。 青少年ホーム玄関自動化工事 4,103,000円 開発センター玄関自動化工事 3,157,000円 空気清浄機(23台) 5,041,960円 飛沫防止パネル(101枚) 485,980円 スリッパ殺菌器(4台) 1,666,720円	開発センター等の集会施設において玄関ドアの自動化や使用済みスリッパの一斉殺菌など不特定多数の接触による感染機会を減らす対策や飛沫拡散を防止し空気を清浄に保つ対策を施し、利用者が安心して快適に施設利用できた。	生涯学習課
6	プレミアム商品券発行事業	19,954,193	商工会と連携し、家計支援及び地域経済回復を目的とした商品券を発行した。 商品券プレミアム分 14,954,193円 商品券印刷経費 2,750,550円 その他事務費 2,249,450円	町からの補助金を活用し、商工会がプレミアム商品券を発行した。年末年始や冬への備えの需要もあまって、地域内消費の喚起が図られた。	企画政策課
7	コミュニティバス運行継続特別支援事業	1,000,000	外出自粛の影響で利用客が減少しているコミュニティバスの運行継続及び感染防止対策を支援するため、緊急支援金を交付した。 平内町民バス緊急支援金 1,000,000円	コロナの影響で減収減益となっても通院や買い物など生活に必要な交通手段として運行継続する町民バス運行事業者を支援するとともに事業者の感染防止対策強化が図られた。	企画政策課
8	中小規模事業者等臨時支援金	11,200,000	コロナの影響を大きく受けている中小規模事業者等へ支援金を給付した。 事業継続支援金(法人24、個人事業主64) 11,200,000円	平内町内の法人及び個人事業主(農業、漁業を除く)への給付により事業継続やコロナ対策のための経費負担が軽減された。	水産商工観光課
9	学校施設換気環境改善事業	1,067,000	統合中学校体育館及び避難所として使用予定の旧県立高校校舎体育館において、換気時の快適環境確保のため網戸を設置した。 網戸設置工事 1,067,000円	網戸設置によりコロナ3密対策として換気機能の向上を図るとともに虫の侵入を防ぐなど快適な学習環境及び避難所環境が確保された。	学校教育課
10	地域防災マップ作成事業	6,490,000	コロナ感染防止に配慮した家庭内備蓄や避難所内注意事項を盛り込んだ防災マップを作成し、全世帯に配布した。 防災マップ作成業務委託 6,490,000円	国が新たに公表した地震や浸水の想定に対応した防災マップを作成するにあたり、住民の自主的かつ適切な災害時初動体制の啓発はもちろん、災害時の感染症対策も分かりやすく掲載し、全世帯への配布により周知徹底を図った。	総務課

No.	事業名	総事業費	事業概要	事業効果	担当課
11	防災活動支援事業	1,488,710	避難所における衛生環境や非常時栄養補給の確保のために必要な資材等を備蓄した。 備蓄用生理用品(430枚×20ケース) 493,504円 備蓄用おむつ(子ども1,608枚、大人1,176枚) 554,400円 備蓄用非常食 ほか	生理の貧困や幼児・高齢者などの排泄物処理への対応としての衛生用品の備蓄及びコロナ隔離や災害による流通停止などに備えた非常食備蓄により、感染拡大下における災害発生時や避難所開設への体制づくりにも万全を期すことができた。	総務課
12	公共的空間安全・安心確保事業	260,790	公共施設における感染リスク低減のため、消毒液、体温計、その他衛生対策消耗品等を追加購入した。 アルコール消毒液 137,116円 非接触体温計(8個) 97,512円 飛沫防止パネル、ウェットティッシュ ほか	役場庁舎その他の公共施設に消毒・衛生対策を講ずることにより、来庁者や職員の感染拡大防止が図られた。	総務課 (一括計上)
13	オンライン学習環境整備事業	2,651,000	GIGAスクール構想事業にて整備した端末を利用した自宅学習やオンライン授業に対応した学習ソフトを導入した。さらに、持ち運びや操作に便利なタブレット関連用品を購入し貸与した。 教育用コンテンツ使用料(6校) 1,793,000円 タブレットケース・タッチペン(600個) 858,000円	コロナ感染拡大時における自宅学習のみならず、平時においても多様な授業形態を行ったり理解度・習熟度の高い学習が可能になるなど、教育のデジタル化や高度化が図られた。	学校教育課
14	病院事業会計繰出金 (コロナ関連医療機器)	16,801,000	コロナ感染疑い患者専用の病室と医療機器を整備すると共に、院内における感染防止対策の充実を図った。 感染症対応病室分割 1,081,300円 同 病室医療用備品 1,554,000円 同 病室モニター 6,160,000円 同 病室空気清浄機 1,402,000円 卓上型採血管準備装置 3,600,000円 院内手洗い蛇口自動化 ほか	コロナ感染疑い患者の病床確保(個室化)と受け入れ体制が強化され、その他高機能機器の導入により医療体制の強化と感染予防の充実が図られた。	平内中央病院
15	子育て世帯への臨時特別給付金(国制度への横出し)	6,500,000	令和3年度に国制度により支給した子育て世帯等臨時特別支援金(10万円)について、コロナ拡大下における子育て支援の観点から町独自で支給対象を拡大した。 町独自給付分(65人) 6,500,000円	国制度において所得や基準日の制約により支給対象外となった子育て世帯にも給付することにより、コロナによる経済影響下における子育て支援充実に寄与した。	福祉介護課